

校長室だより (No.4)

令和 5 年 6 月 2 日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

豪雨災害の経験から

例年より早い梅雨入りとなり、5月末から丹波地方にも雨が降り続けています。私自身が丹波市立竹田小学校で経験した豪雨災害では、防災への備えの大切さを学びました。災害時にどのように対応していくかを平時から考えて訓練しておく人が命を守ることに繋がると考えます。

兵庫県は、阪神淡路大震災でも大きな被害を受けました。当時の経験から学校では防災教育にも力を入れているところです。地域の特性に起因する様々な自然災害から自らの生命を守るため災害に対する正しい知識や技能を身に付け、適切に判断し、主体的に行動する力を育成することを大切にしています。

また、震災の経験と教訓を継承し、生命に対する畏敬の念や助け合い、ボランティア精神等「共生」の心を育み、人間としての在り方や生き方を児童生徒に考えさせる教育に取り組んでいます。あわせて、災害に強い、安全で安心な地域社会の構築のため、学校と家庭、地域の果たす役割を明確にし、地域の防災拠点として機能するよう学校の防災体制の充実を担当部局とともに図っているところです。

阪神淡路大震災では、避難所となった学校へ全国から多くの教職員等が応援に駆けつけてあたたかい支援をしていただきました。その教訓から、教職員による災害時の学校支援組織の設置がはじまり、平成9年度より「防災教育推進指導員養成講座」が開設され、防災や避難所運営等に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備えた教職員の養成がはじまりました。これが震災・学校支援チーム(EARTH = Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo)です。

設立当初は、防災教育推進指導員養成講座の修了者56名、阪神・淡路大震災時に学校の避難所運営に携わった教職員、教育復興担当教員など34名、アドバイザー役としてのカウンセラー5名、計95名でスタートしました。現在、防災教育推進指導員養成講座(上級編)修了者した教諭、養護教諭、栄養教諭、学校事務職員に加え、カウンセラーを特別構成員として活動しています。

組織は、

- ① 研究・企画班 ・EARTH 訓練 ・研修のプログラムの企画
- ② 学校教育班 ・学校教育の早期再開に向けた支援
- ③ 避難所運営班 ・学校内に開設された避難所の運営支援
- ④ 学校給食班 ・学校給食の早期再開と避難所内の食生活の支援
- ⑤ 心のケア班 ・児童生徒 ・保護者 ・教職員の安全・安心への支援

に分かれています。

平時の活動として、防災教育に係る各種研修会等における指導助言、各学校での兵庫の防災教育の推進、各地域の地域防災体制への協力があります。災害時の活動は、学校教育応急対策と早期再開、児童生徒の心のケア、学校における避難所運営支援にあたります。

平成12年の設立以来、大規模災害時における学校のあり方を知る全国唯一の組織として幅広く活動し、現在は、熊本県、宮城県、三重県、岡山県に同組織が設立されました。